

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	4
事業名	公害対策経費	会計 一般	款 4	項 1	目 5
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的の実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	環境測定値の基準値内率	96	96	99	%	↑	92
	2							
	3							
	4							
	5							
				令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)
全体事業費(千円)				4,910		5,101		5,737
財源内訳	うち一般財源			4,910		5,101		5,737

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	調査項目や頻度について環境審議会に諮り、最も効率的な調査を目指す。	③取組の課題	調査結果を検証する際、専門的な知識が不足している。
②R6年度に実施した取り組み	環境調査項目や頻度について、環境審議会に諮り、より効率的で時勢に沿う内容に見直した。	④今後の改善計画	県環境室と連携し、知識向上を図る。